

NLE Yokohama		Sakura6 Plus 取り扱い説明書-設定ツール編	Technical Catalog	
June 16, 2014			T 001 291 J	
CS SK	Ver. 07		Page	1 / 30

NLE

YOKOHAMA JAPAN

Nippon Lifts Engineering Inc.

新機能！
システム電源監視機能付き

遠隔監視装置
Sakura6 Plus

設定ツール



注意

適用マニュアル

製品の銘板に記載されているシリアル番号DS6B-900以前の製品に付きましては、同取り扱い説明書Ver.04をご覧ください。

改版履歴(1/1)

Version	日付	作者	項目
p0	2010/03/01	SK	Sakura6 Plus Setting Tools pre release
00	2010/04/01	SK	Sakura6 Plus リリース
01	2010/07/01	SK	呼称統一、一部変更
02	2010/07/07	SK	一部記載変更、文章修正
03	2010/08/01	SK	P14 追記。P18-19 将来対応記載。
04	2010/10/12	SK	ロジック対応。一部記載変更
05	2011/09/01	SK	システム電源監視機能 追加
06	2011/09/27	SK	一部記載変更、文章修正
07	2014/06/16	SK	P18 コールセンター呼出しに対して着信動作の記載変更 出荷時: 自動⇒手動

目 次

機器名	項目	ページ
—	1. はじめに	6
	1. 1 設定ツール	6
	1. 2 構成	7
	2. 基本操作	
	2. 1 操作のボタン	8
	2. 2 画面の構成	9
	3. 事前作業	10
	3. 1 設定ツールの起動	10
	3. 2 機器の選択	10
	3. 3 接続	10
主監視装置 (メイン モジュール) (全項目) — — — — 従監視装置 (マルチプレックス) (一部のみ) — — — — 従監視装置(ビルオ プション) (初期化のみ)	4. メインモジュール Sakura6Plus主監視装置	11
	4. 1 初期化	11
	4. 2 ロジックモード	11
	4. 3 ロジックモードACS	11
	4. 4 ファームウェア情報(表示専用)	11
	4. 5 日付時刻	12
	4. 6 識別子	12
	4. 7 停止階数	13
	4. 8 入力ポートの極性	13
	4. 9 入力ポートの割り当て	13
	4. 10システムポートの割り当て	14
	4. 11 出力ポートの無効	14
	4. 12 オプションセンサー	14
	4. 13 設備監視基板の有無	15
	4. 14 入力ポートの極性	15
	4. 15 入力ポートの割り当て	15
	4. 16 通信オプション	16
	4. 17 電話回線全般	16
	4. 18 通常通話電話番号	16
	4. 19保守中通話電話番号	17
	4. 20 一般データ通信電話番号	17
	4. 21 定時発報先電話番号	17
	4. 22 音声発信	18
	4. 23 音声着信	18
	4. 24 音声通話	19
	4. 25 子機毎の号機番号	19
	4. 26 全般	20
	4. 27 温度	20
	4. 28 電圧低下 DC9V(端末電源) ※ 2011/10/1追加	20
	4. 29 電圧復旧 DC9V(端末電源)	21
	4. 30電圧低下バッテリー ※ 2011/10/1追加	21
	4. 31 電圧復旧バッテリー	21
	4. 32 電圧低下インターホン ※ 2011/10/1追加	22

機器名	項目	ページ
主監視装置 (メインモジュール)	4. 33 電圧復旧インターホン	22
	4. 34 アラーム割り当て	22
	4. 35 全般	23
	4. 36 シリアルアラーム-01～64, シリアルアラーム Settings	23
	4. 37 ポートアラーム全般	23
— — — — 従監視装置 (マルチプレックス) (一部のみ)	4. 38 装置監視ポート(1-16)-x1.アラーム対象	24
	4. 39 装置監視ポート(1-16)-x1.アラーム通知	24
	4. 40 装置監視ポート(1-16) 01.ポートアラーム01-32	25
	4. 41 保守モード	25
	4. 42 定時発報	26
— — — — 従監視装置 (ビルオプション) (初期化のみ)	4. 43 取得方法	26
	4. 44 入力信号の割り当て	27
	4. 45 全般	27
	4. 46 スケジュール	28
	4. 47 全般	28
	4. 48 接点出力ON時間	28
	4. 49 接点出力指示	29
	4. 50 全般	29
その他	5. 困ったときは……(お問い合わせする前の事前確認)	30



注意

・設定ツールで従監視装置(マルチプレックス)並びに設備監視(ビルオプション)に対しての設定方法や設定項目は、基本の主監視装置と同じです。従いまして、同装置への設定する場合は、ログイン時に下記の装置を選択頂き各種パラメータを設定下さい。

■ 基本設定

主監視装置(メインモジュール)	⇒	Sakura6Plus(DS6B-x-xxL02)基本 設定 01
従監視装置(マルチプレックス)	⇒	Sakura6Plus(DS6B-MM-xL02)基本 設定 01
設備監視装置(ビルオプション)	⇒	Sakura6Plus(DS6B-BM-xL02)基本 設定 01

■ 論理回路設定(ロジック設定)

主監視装置(メインモジュール)	⇒	Sakura6Plus(DS6B-x-xxL02)ロジック 設定 01
従監視装置(マルチプレックス)	⇒	Sakura6Plus(DS6B-MM-xL02)ロジック 設定 01

※(『……設定 01』の01は版数です。)

安全に関する表示について

- ・本製品を安全に正しくお使いいただくために、注意事項を次のような表示と図記号で表しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守って下さい。
- ・また、別資料「T001 187J NLE製品 取扱い説明書-安全のしおり」も併せてお読み下さい。
- ・表示と意味は次のとおりです。



危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

このマニュアルは、型式:DS6B-P-ABL02(例)の様に**L02と記載されている”L”(ロジック機能)が追記されたマニュアルです。

製品銘板の型式に”L”と記載されていないSakura6Plus の設定ツール編に付いては、Ver.04をご覧ください。

1. はじめに

1. 1 設定ツール

本説明書は Sakura6 Plus の設定方法について述べたものです。
一般的使用方法については、下記の資料を参参照願います。
T000701J 遠隔端末装置 (Remote Site Manager) 設定ツール説明書－基本編

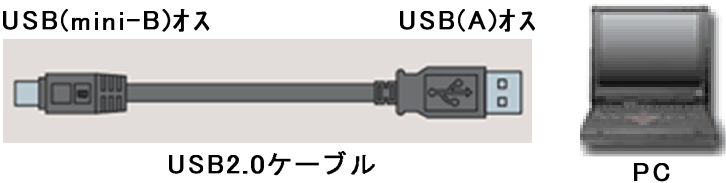
設定ツールを接続した構成図を下記に示します。設定用のパソコン(PC)及び設定ケーブルをご用意下さい。
パソコンの仕様は下記OSがインストールされたものをお奨めします。同じOSがインストールされたパソコンで設定されることをお奨めいたします。

Sakura6Plus

メインモジュール
マルチプレックスモジュール
ビルディングオプションモジュール



CN2コネクターへ接続



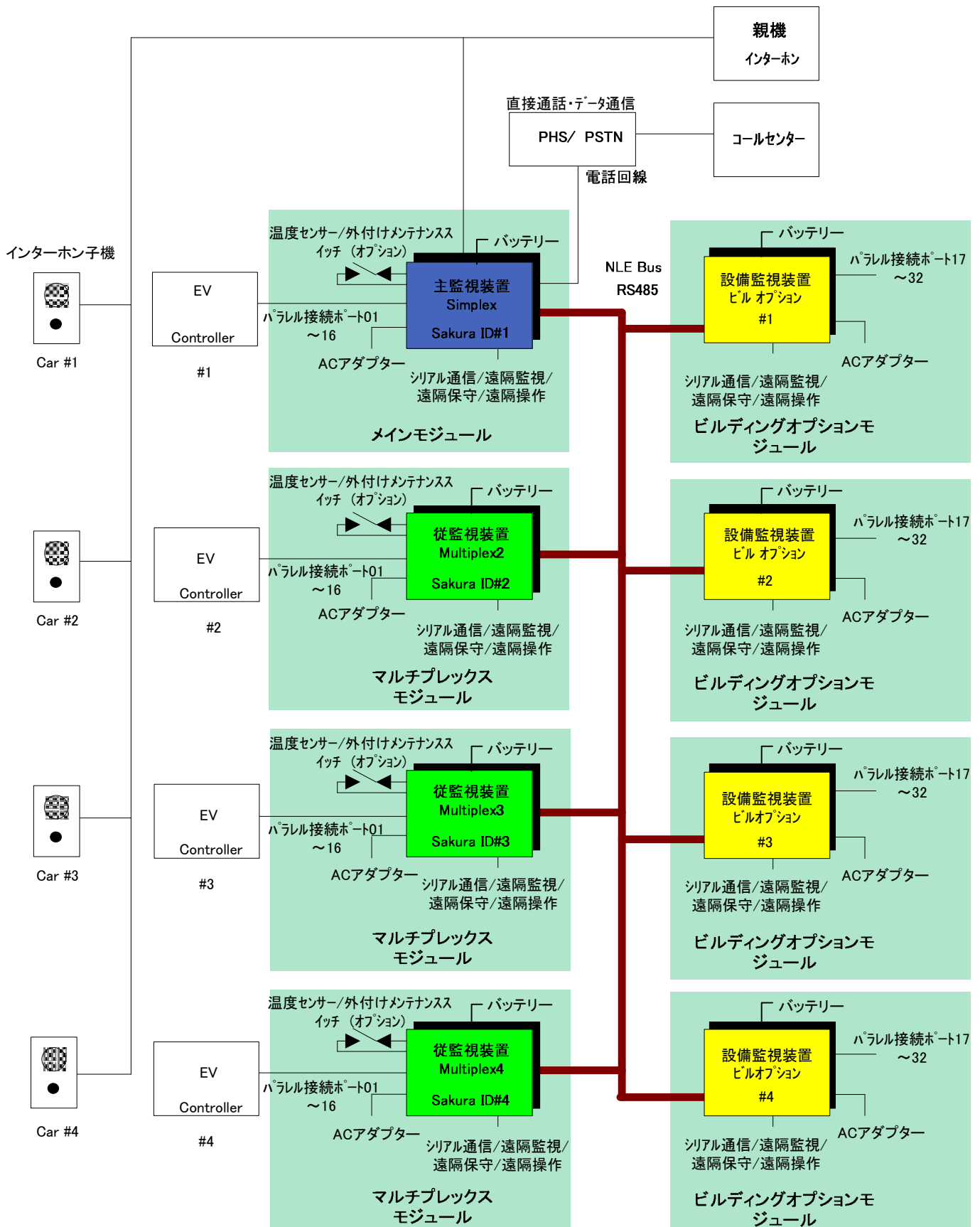
設定ケーブル
USB2.0ケーブル(A:ミニBタイプ) ELECOM社製 USB-FSM518 相当

※設定ケーブルはお客様にて量販電気店にてご購入下さい。

- 【動作確認済】
- 1) Windows 2000
 - 2) Windows XP Home Edition
 - 3) Windows XP Professional
 - 4) Windows Vista
 - 5) Windows 7 (32bit SP1)

1. 2 構成

本説明書は Sakura6 Plus の基板構成について述べたものです。
各基板名称を参考にパラメータ設定を行って下さい。



2. 基本操作

2. 1 操作用のボタン

未接続時のボタン



接続中時のボタン



a. 通信ポート接続/切断



通信 (COMM)ポートを接続し端末装置とPC間の通信を開始します。
正常終了すると 画面左下の接続状態が”切断”から”接続”に変わります。



通信 (COMM)ポートを切断し端末装置とPC間の通信を終了します。
正常終了すると 画面左下の接続状態が”接続”から”切断”に変わります。

b. 値の設定



項目の内容を変更(入力)後、本ボタンをクリックすることで端末装置内の内容を更新します。
項目の内容を変更(入力)後、本ボタンをクリックしないで別の項目を選択したり読み込みを行うと、変更(入力)した値は破棄されます。

c. 値の読み



現在選択中の項目の端末装置内の内容を読み込んで表示します。

d. 同じ値の設定



設定項目内で、項目数が複数ある場合、このボタンをクリックすると1番目に入力されている値が2番目以降の欄に複写されます。
「更新・実行」ボタンをクリックしないかぎり端末装置に反映されません。

e. 値のセーブ



設定したすべての値をファイルへセーブします。

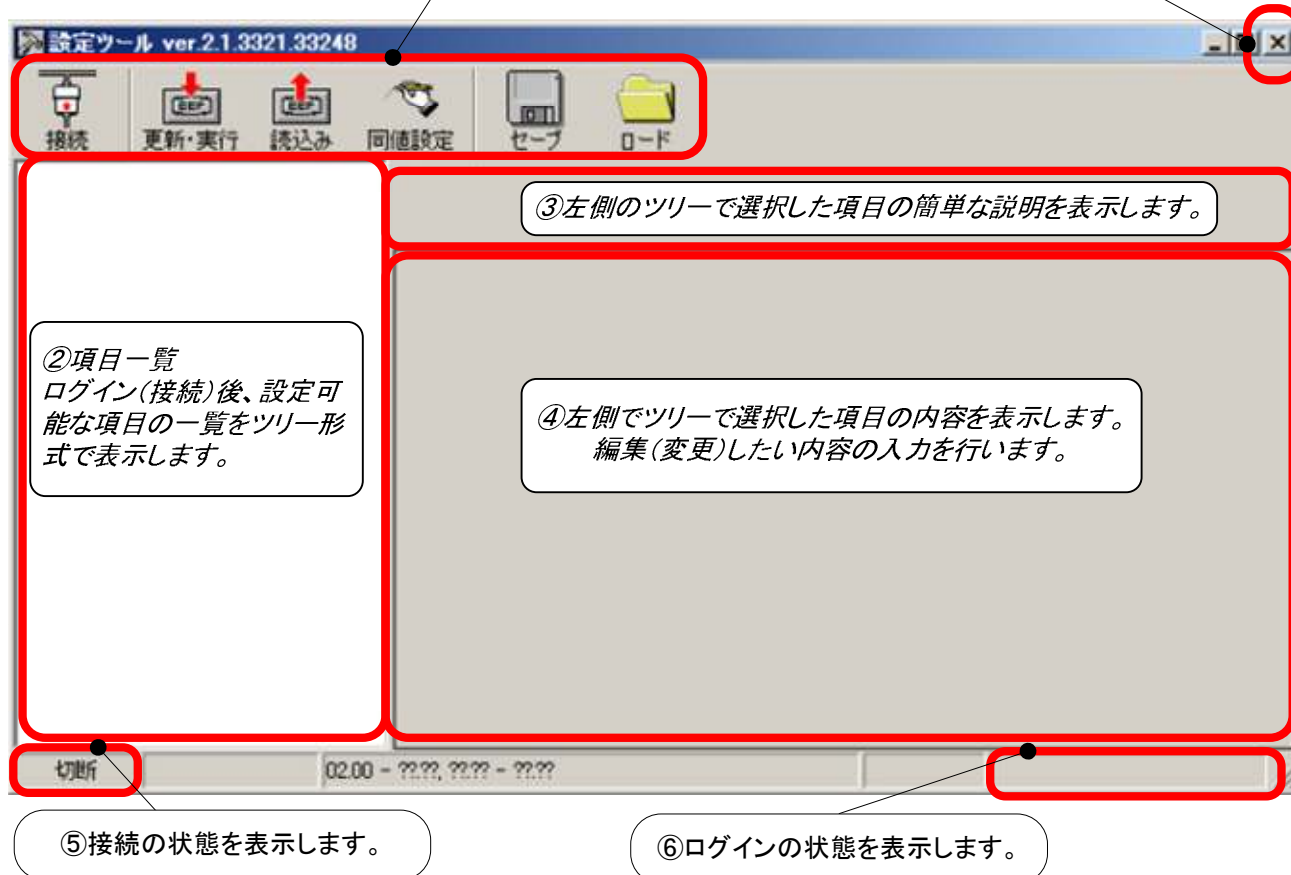
f. 値のロード



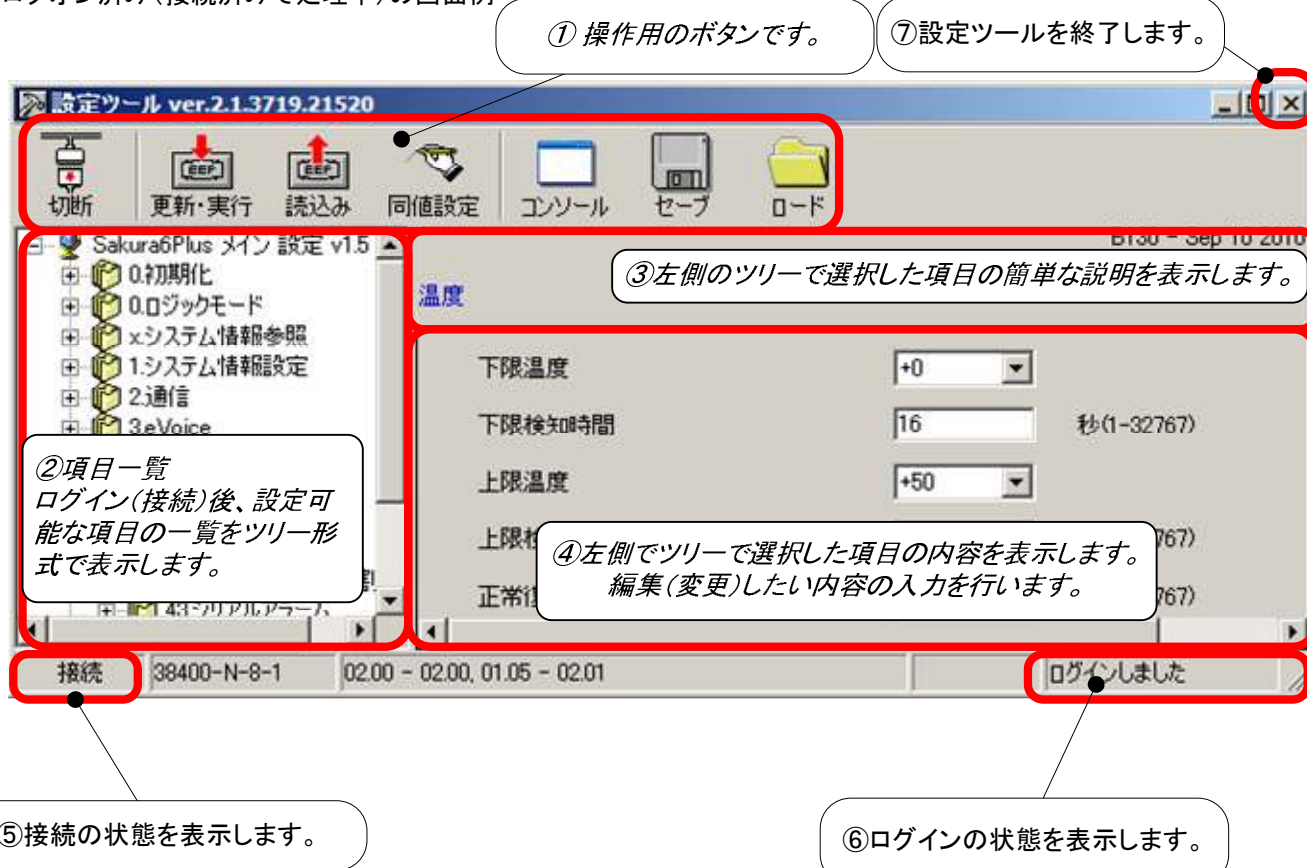
ファイルからパラメータを読み込みします。
ロードのみで、「更新・実行」ボタンをクリックしないかぎり端末装置に反映されません。

2. 2 画面の構成

- ・ 未接続(起動直後or切断後)の画面



- ・ ログオン済み(接続済みで処理中)の画面例



3. 事前作業

3.1 設定ツールの起動

『スタート』、『プログラム』、『Super Sakura』、『設定ツール』をクリックしてユーティリティをスタートします。左上の接続ボタンを押して下さい。



3.2 機器の選択

設定する機器を選択した後にACアダプターの電源供給を行って下さい。自動的にCOM番号が表示されます。『接続』ボタンを押します。

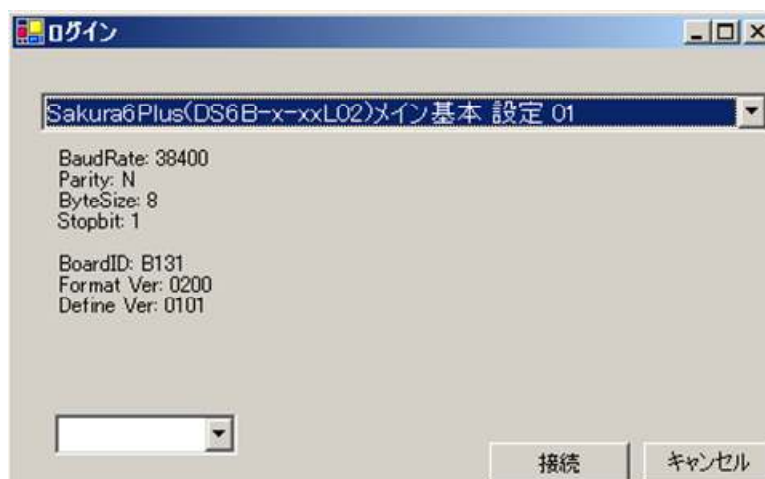


注意

このログイン画面が表示されている時にACアダプターの電源を投入下さい。
手順を間違えると、ログイン出来ません。

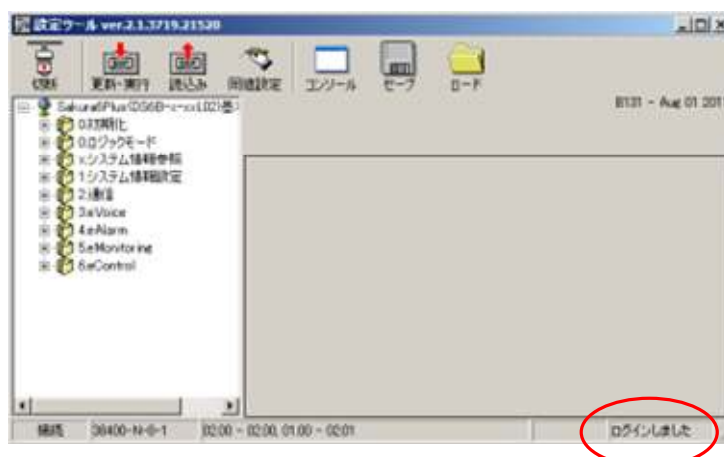
【定義ファイル】

Sakura6 Plus(DS6B-x-xxL02)メイン基本 設定
Sakura6 Plus(DS6B-MM-xL02)マルチ基本 設定
Sakura6 Plus(DS6B-BM-xL02)ビル基本 設定



3.3 接続

Sakura6 Plusと設定ツールが正しく接続されると左記の様に”ログインしました”と表示され設定項目が白抜き字体⇒黒字体となり選択できる様になります。



注意

ログイン出来ない場合は、

- ① 通信ポートの設定を確認
- ② 機器のACアダプターを抜き差しして電源入り切りして下さい。

4. メインモジュール

Sakura6 Plus 主監視装置

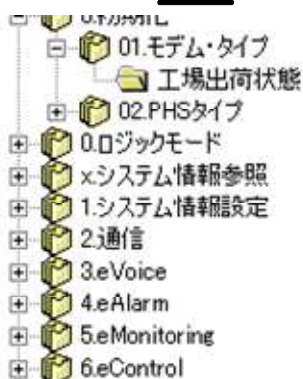
4.1 初期化

パラメータを工場出荷時へ戻す際にはモデム/PHSタイプを選択して『実行』ボタンを選択すると工場出荷時のパラメータに変更されます。



注意

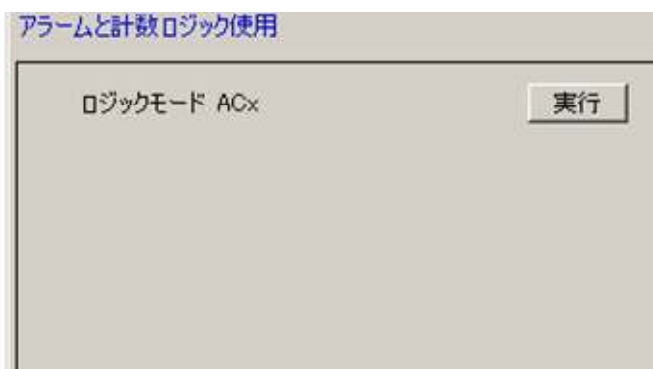
モデム/PHSの選択を間違えると誤動作します。



4.2 ロジックモード

06-アラーム計数-ロジックモードACxを実行するとロジック設定が可能になります。(詳細は、T001 346J「Sakura6 with Logic 利用者 マニュアル ロジック定義方法 基礎編」をご参照下さい。)

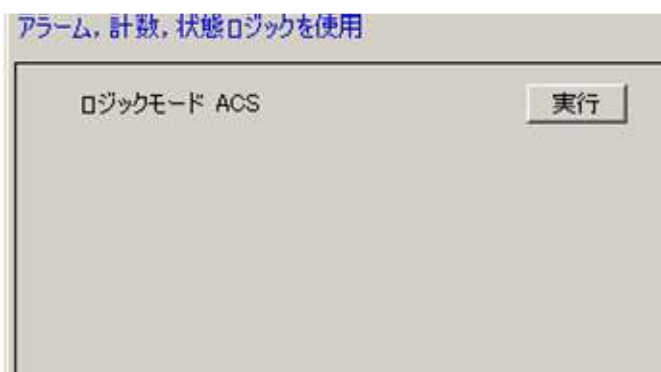
また、アラームのみで使用する場合(ロジック未使用、システム電源監視を使用)は、設定もこのロジックモードACxを実行し、設定ツールで再ログインしてロジック項目を設定する(Sakura6Plus(DS6B-x-xxL02)ロジック設定00で)設定する必要ありませんのでご注意下さい。



4.3 ロジックモード ACS

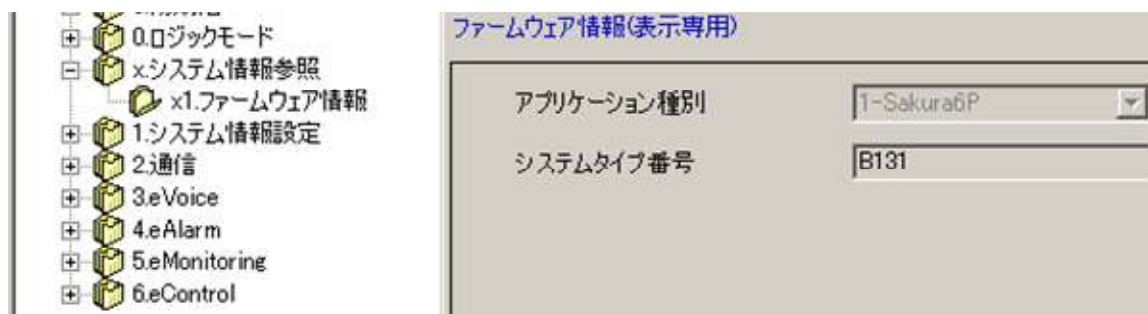
07-アラーム計数-ロジックモードを実行するとロジック設定が可能になります。

(詳細は、T001 346J「Sakura6 with Logic 利用者 マニュアル ロジック定義方法 基礎編」をご参照下さい。)



4. 4 システム情報参照-x1.ファームウェア情報(表示専用)

選択するとアプリケーションの種別やシステムタイプ番号を表示します。(変更付加)



4. 5 システム情報設定-10.全般-101.日付時刻

Sakura6 Plus に設定された時刻が表示されます。実行を押すとPCの時刻が本装置へ反映され、時刻を補正します。



4. 6 システム情報設定-10.全般-102.識別子

TaroID(##5) (0-9、最大16文字 任意)

⇒TaroIDは利用者が任意に設定できる。本装置の識別番号です。非常通話発報時に自動でコールセンターへ通知します。

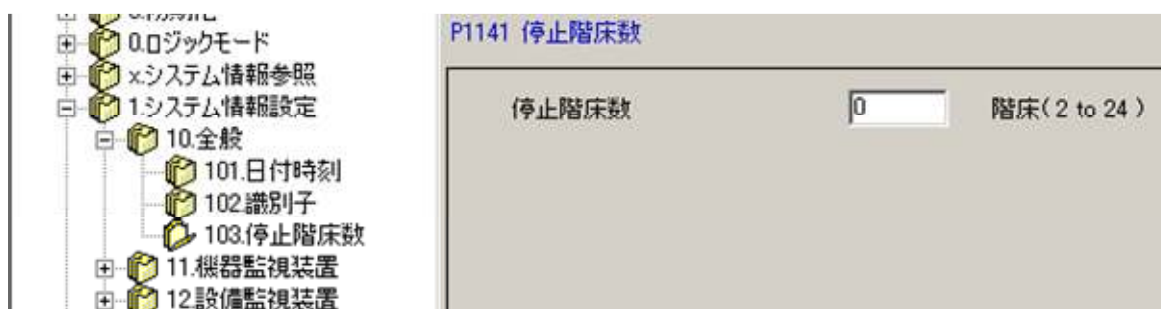
SakuraID (0-9、A-Z 最大16文字 必須)

⇒SakuraIDは、利用者が任意に設定できる、本装置の識別信号です。コールセンター側のデータ登録の際に付与されるSakuraIDと番号が一致する様に設定下さい。



4. 7 システム情報設定-10.全般-103.停止階数

エレベーター停止階数を入力して下さい。(2～24階)



4. 8 システム情報設定-11.機器監視装置-111.入力ポートの極性

入力ポート01～16までに接続される監視信号の極性を入力します。

0-同一(A) ⇒ N.O.(A接)

1-反転(B) ⇒ N.C.(B接)

※ 変更したら必ず、更新・実行ボタンを押し登録して下さい。



4. 9 システム情報設定-11.機器監視装置-112.入力ポート割り当て

接続したポートの番号とコールセンター側に発報するアラーム番号を振替える事が出来ます。



4. 10 システム情報設定-11.機器監視装置-112b.システムポートの割り当て
標準をご使用下さい。その他工場出荷テスト時使用。



4. 11 システム情報設定-11.機器監視装置-113.出力ポートの無効

出力ポートのON 0-有効、OFF 1-無効を設定する

【配線接続】

出力ポート01・02 ⇒ ROCSAA基板

出力ポート03・04・05・06 ⇒ SAPIO基板

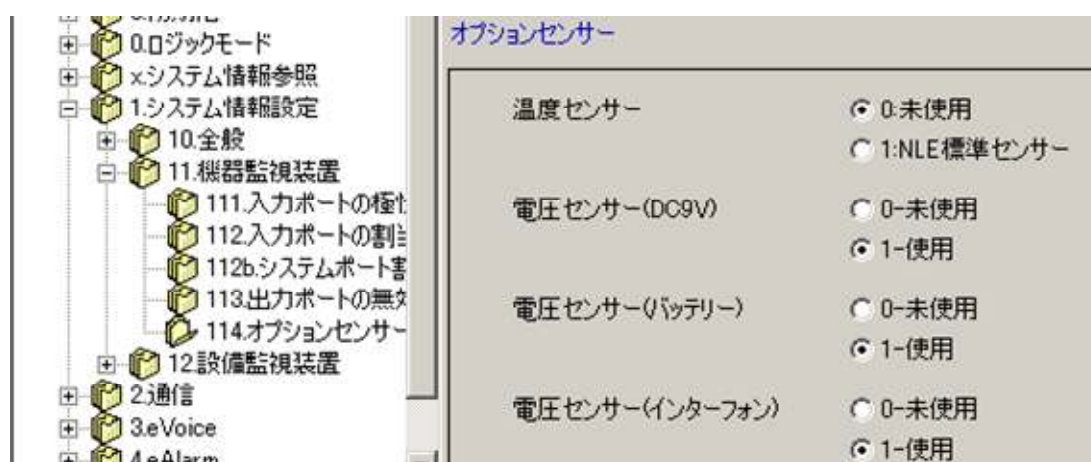


4. 12 システム情報設定-11.機器監視基板-114.オプションセンサー

各センサーの使用・未使用の設定を行います。

温度センサー 0:未使用、1:NLE標準センサー 電圧センサー(バッテリー) 0-未使用、1-使用

電圧センサー(DC9V) 0-未使用、1-使用 電圧センサー(インターホン)0-未使用、1-使用

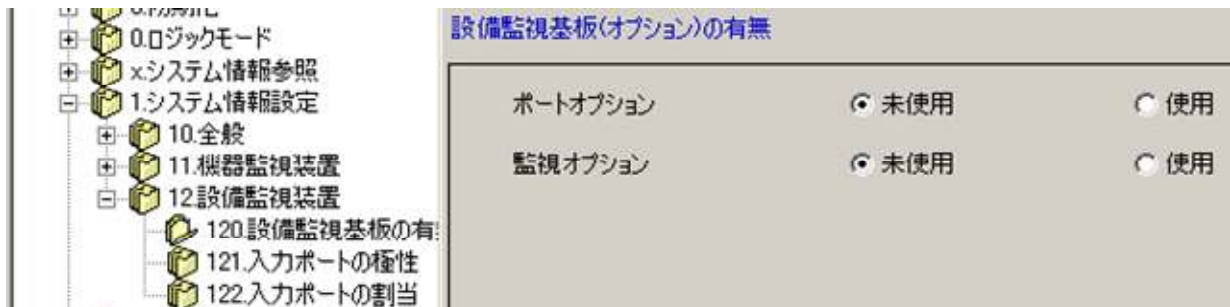


4. 13 システム情報設定-12.設備監視装置-120.設備監視基板の有無

ビルディングオプション(設備監視装置)を使用するか?の設定を行います。

ポートオプション 未使用、使用

監視オプション 未使用、使用



4. 14 システム情報設定-12.設備監視装置-121.入力ポートの極性

設備監視装置に接続される監視信号の極性を設定します。

入力ポート# 17～ #32 0-同一(A)⇒N.O.(A接)、 1-反転(B接)⇒N.C.(B接)



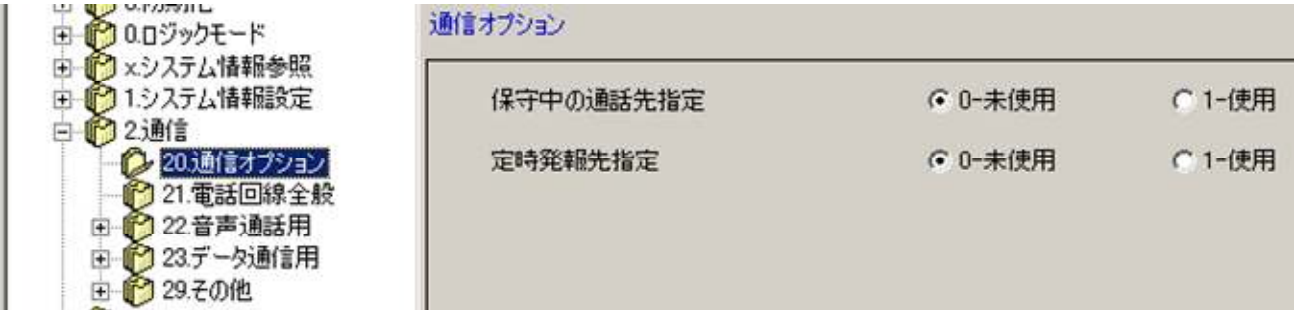
4. 15 システム情報設定-12.設備監視装置-122.入力ポートの割り当て

ビルディングオプション(設備監視装置)で接続したポートの番号とコールセンター側に発報するアラーム番号を振替える事が出来ます。



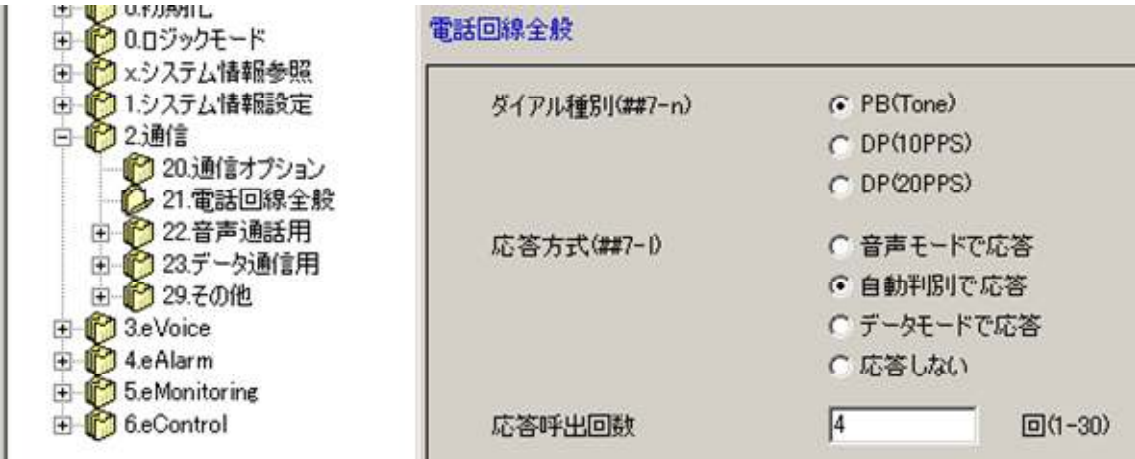
4. 16 通信-20.通信オプション

保守中の通話先指定 0-未使用、1-使用(1-使用に変更する場合は、4-19.保守中通話電話番号を指定の事)
定時発報先指定 0-未使用、1-使用(1-使用に変更する場合は、4-21.定時発報先電話番号を指定の事)



4. 17 通信-21.電話回線全般

ダイヤル種別(##7-n) PB(トーン)、DP(10pps)、DP(20pps)
応答方式(##7-l) 音声モードで応答、自動判別で応答、データモードで応答、応答しない
応答呼出回数 4回



4. 18 通信-21.電話回線全般-221.通常通話電話番号

直接非常通話装置機能の発報先電話番号(5箇所まで登録出来ます) 0-9、A-Z 最大20桁、“-”は不可。



4. 19 通信-22.音声通話用-222.保守中通話電話番号

メンテナンススイッチが点検時の時に非常ボタンを押した際の発報先電話番号を設定します。
(機能を有効にするには、項目4-16を”1-使用”に設定して下さい。)

The screenshot shows a tree view on the left with the following items: 0.ロジックモード, x.システム情報参照, 1.システム情報設定, 2.通信, 20.通信オプション, 21.電話回線全般, 22.音声通話用, 221.通常通話電話番号, and 222.保守中通話電話番号. The right pane is titled 'P2021,P2022-2 保守中通話電話番号' and contains two input fields: '電話番号1(**306)' and '電話番号2(**307)', both with a note '(0-9,*,#,最大20桁)'.

4. 20 通信-23.データ通信用-231.一般データ通信電話番号

非常連絡先通話機能の発報先電話番号を5箇所目で登録出来ます。(0-9、*、#最大20桁”-”は不可)

The screenshot shows the same tree view as before, but with '231.一般データ通信電話番号' selected. The right pane is titled 'P2031,P2032-1 一般データ通信電話番号' and contains five input fields: '電話番号1(##3)', '電話番号2(##4)', '電話番号3(**313)', '電話番号4(**314)', and '電話番号5(**315)', each with a note '(0-9,*,#,最大20桁)'.

4. 21 通信-23.データ通信用-232.定時発報先電話番号

定時発報のデータ通信を行う電話番号の登録を行ないます。
(機能を有効にするには、項目4-16の定時発報先指定を1-使用に設定して下さい。)

The screenshot shows the same tree view as before, but with '232.定時発報先電話番号' selected. The right pane is titled 'P2031,P2032-2 定時発報先電話番号' and contains two input fields: '電話番号1(**318)' and '電話番号2(**319)', both with a note '(0-9,*,#,最大20桁)'.

4. 22 eVoice-31.音声発信

非常ボタン押検知時間⇒かご内非常ボタンの押し下げ検知時間を設定します。(2秒)

音声発信待ち時間⇒非常ボタン押下げ確定から発信するまでの待ち時間を設定します。(6秒)

親機応答時の発信⇒音声発信待ち時間内にインターホン親機が応答した時の設定。(応答しても発信する)

発信順序⇒インターホンアラームと音声発信の発信順番を設定します。(データ発信後に音声発信)

子機SP制御方式⇒音声発信時のかご内へブザーとアナウンスの有り、無しを設定(1:ブザー有り、アナウンス有り)

4. 23 eVoice-32.音声着信

コールセンターからの呼出しに対しての着信動作を設定。(0:自動 1:手動 2:半自動)

0:自動⇒1号機に自動的に接続

1:手動⇒コールセンター側が操作を行い1号(＃1)～4号(＃4)を選局する。

2:半自動⇒下記の『子機接続遅延時間』を経過中は、手動操作が可能で、それを過ぎると自動的に1号接続。

子機接続遅延時間⇒上記の設定が半自動のみに有効で手動操作が行なえる時間を設定します。(10秒)

4. 24 eVoice-33.音声通話

音声通話時間⇒かご内⇔コールセンターの通話時間を設定(4分)

切断予告通知方式⇒音声通話時間がタイムアップする前に切断警告を知らせる時期設定。(10秒)

切断予告通知方式⇒0:DTMF Tone音(ピピピ・・・)、1:音声通知(音声アナウンス)

Taroid通知方式⇒項目4. 6で設定した識別信号をトーン信号または音声アナウンスで通知(2:音声通知)

現場名通知時期⇒ 0:手動⇒手動(#*)で操作する事でアナウンス再生を行ないます。

1:自動(発信時)⇒かご内より発信時のみ、自動でアナウンス再生を行ないます。

2:自動(着信時)⇒かご内に着信時のみ、自動でアナウンス再生を行ないます。

3:自動(双方向)⇒発信、着信時に自動アナウンス再生を行ないます。

かご号機番号の通知方式⇒0:DTMF Tone 1:DTMF回数 2:音声通知

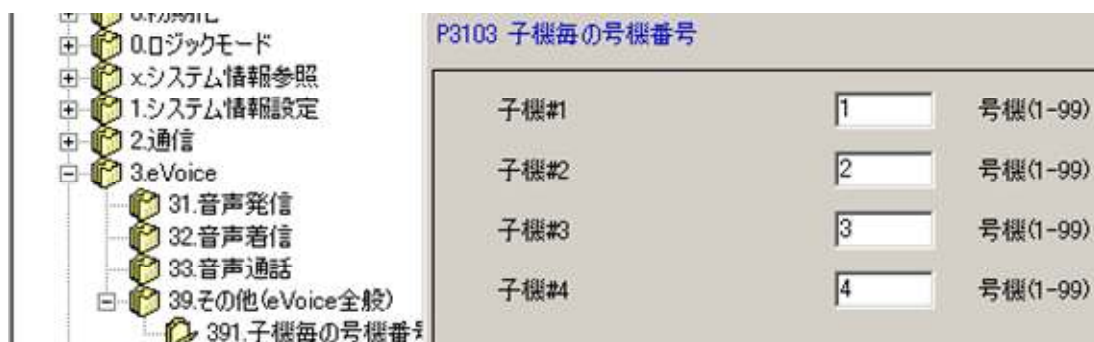


4. 25 eVoice-39.その他(eVoice全般)-391.子機毎の号機番号

かご内からコールセンターへ発報された際に『1号機です』とアナウンスされる号機番号を指定。

例えば・・

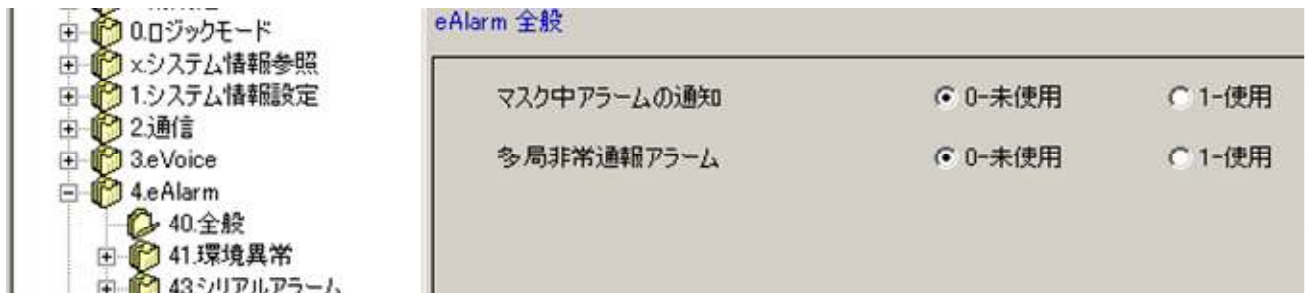
1現場の多局インターホンに5台以上のエレベーターが設置されている場合、Sakura2台目に接続した子機へは5号機ですとアナウンスする事が出来ます。



4. 26 eAlarm-40.全般

マスク中のアラーム通知⇒既に発報されアラームマスク状態のポートに対して、他のアラーム発生時に付随してそのポートのアラーム通知を行なうか？を設定します。(0-未使用)

多局非常通知アラーム⇒メインモジュールのみを使用し、尚且つ多局インターホンとして複数名機を設置する場合に『2号～4号機 of インターホンアラームを発報を行なうか？』を設定します。(0-未使用)



4. 27 eAlarm-41.環境異常-411.温度

異常温度を検知する温度や検知時間を設定します。

下限温度⇒低温度を検知する温度設定。(0℃)

下限検知時間⇒低温度を検知してアラーム確定するまでの時間設定(16秒)

上限温度⇒高温度を検知する温度設定。(50℃)

上限検知時間⇒高温度を検知してアラーム確定するまでの時間設定(16秒)

正常復帰検知時間⇒温度異常アラームを発報して正常復帰検知を行なう時間を設定します。(60秒)



4. 28 eAlarm-41.環境異常-412.電圧低下 DC9V(端末電源)

検出機能⇒電圧検出の0-有効・1-無効の切替設定

下限電圧⇒下限電圧の閾値(しきいち)の設定(6500mV)

検知時間⇒電圧検出の時間設定(20秒)

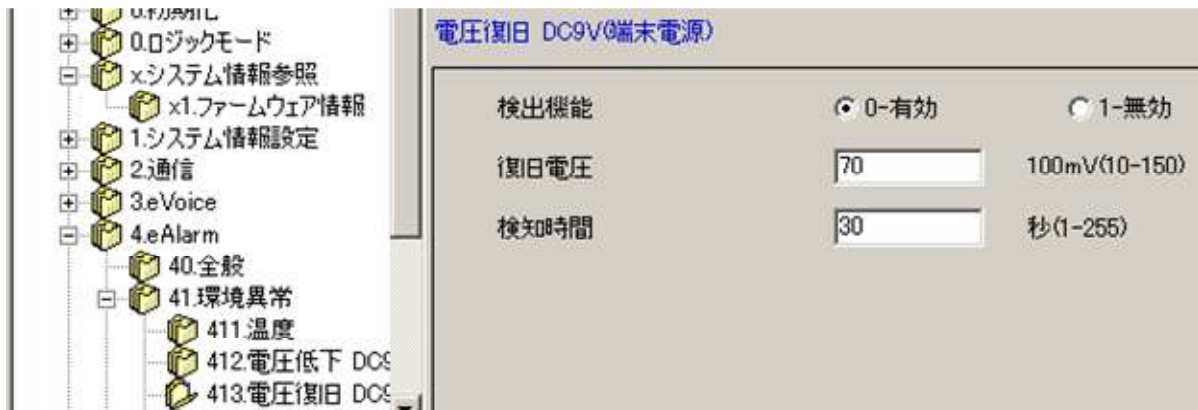


4. 29 eAlarm-41.環境異常-413.電圧復旧DC9V(端末電源)

検出機能⇒電圧検出の0-有効・1-無効の切替設定

復旧電圧⇒復旧電圧の閾値(しきいち)の設定(7000mV)

検知時間⇒電圧検出の時間設定(30秒)



4. 30 eAlarm-41.環境異常-414.電圧低下バッテリー

検出機能⇒電圧検出の0-有効・1-無効の切替設定

下限電圧⇒下限電圧の閾値(しきいち)の設定(6100mV)

検知時間⇒電圧検出の時間設定(240秒)



4. 31 eAlarm-41.環境異常-415.電圧復旧 バッテリー

検出機能⇒電圧検出の0-有効・1-無効の切替設定

下限電圧⇒下限電圧の閾値(しきいち)の設定(6500mV)

検知時間⇒電圧検出の時間設定(30秒)



4. 32 eAlarm-41.環境異常-416.電圧低下 インターホン

検出機能⇒電圧検出の0-有効・1-無効の切替設定

下限電圧(6V)⇒下限電圧の閾値(しきいち)の設定(4500mV)

下限電圧(24V)⇒下限電圧の閾値(しきいち)の設定(21000mV)

検知時間⇒電圧検出の時間設定(20秒)



4. 33 eAlarm-41.環境異常-417.電圧復旧 インターホン

検出機能⇒電圧検出の0-有効・1-無効の切替設定

復旧電圧(6V)⇒復旧電圧の閾値(しきいち)の設定(5000mV)

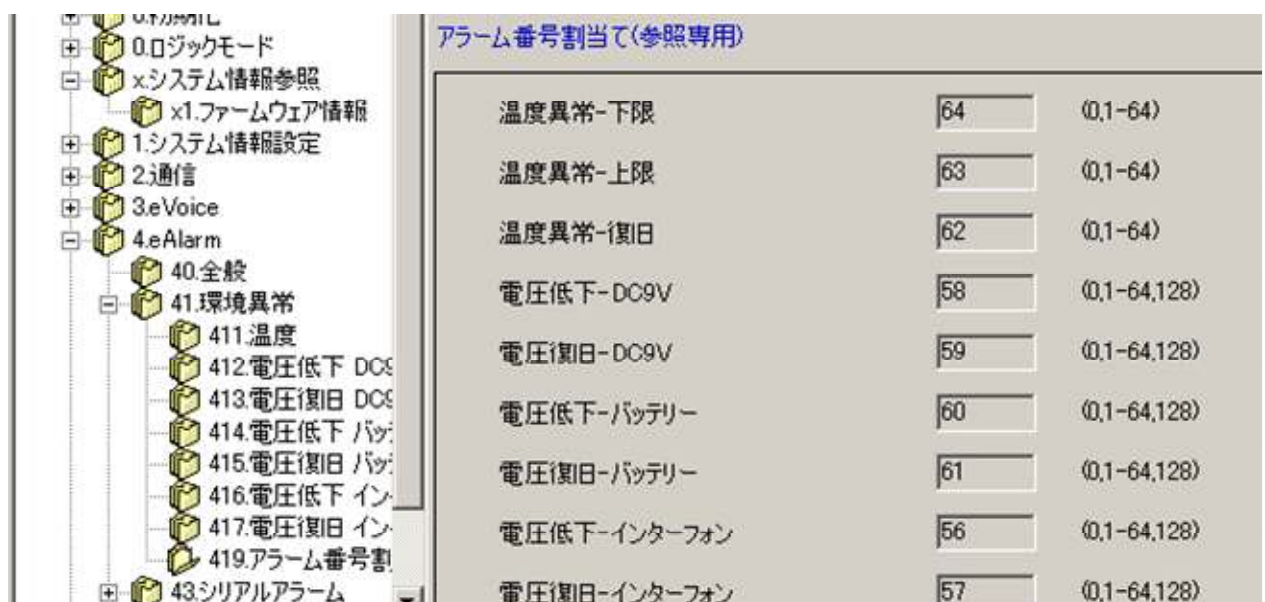
下限電圧(24V)⇒下限電圧の閾値(しきいち)の設定(22000mV)

検知時間⇒電圧検出の時間設定(30秒)



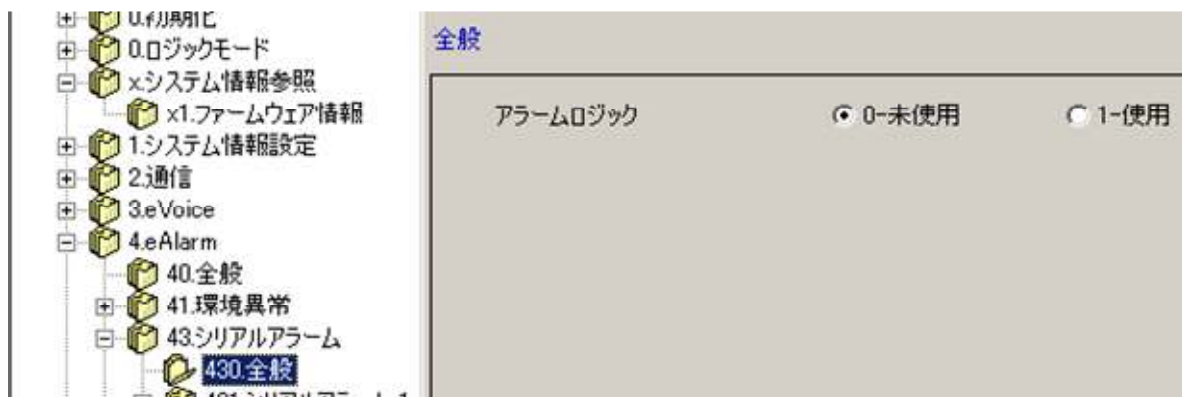
4. 34 eAlarm-41.環境異常-419.アラーム番号割り当て(参照専用)

各設定値の参照用です。(変更不可)



4. 35 eAlarm-431.シリアルアラーム-430.全般

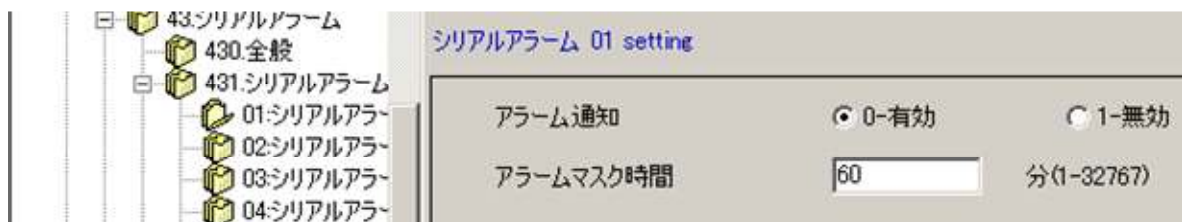
アラームロジック⇒シリアル信号を使ったアラームロジックを0-未使用、1-使用するか？を設定します。



4. 36 eAlarm-431.シリアルアラーム-01～64.シリアルアラーム setting

アラーム通知⇒0-有効、1-無効を設定します。

アラームマスク時間⇒マスク時間の設定を行います。(60分)



4. 37 eAlarm-44.ポートアラーム-440.ポートアラーム全般

ポートアラーム復旧⇒0-未使用、1-使用

復旧検知時間⇒復旧時間を設定します。(10分)



4. 38 eAlarm-44.ポートアラーム-441.装置監視ポート(1-16)-x1.アラーム対象

01-16:ポートアラーム01~16⇒ポートアラームを0-対象外、1-対象か？を設定します。

Port Alarm	0-対象外	1-対象
01:ポートアラーム01	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
02:ポートアラーム02	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
03:ポートアラーム03	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
04:ポートアラーム04	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
05:ポートアラーム05	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
06:ポートアラーム06	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
07:ポートアラーム07	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
08:ポートアラーム08	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

4. 39 eAlarm-44.ポートアラーム-441.装置監視ポート(1-16)-x2.アラーム通知

01-16:ポートアラーム01~16⇒ポートアラームを0-有効、1-無効か？を設定します。

Port Alarm	0-有効	1-無効
01:ポートアラーム01	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
02:ポートアラーム02	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
03:ポートアラーム03	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
04:ポートアラーム04	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
05:ポートアラーム05	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
06:ポートアラーム06	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
07:ポートアラーム07	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
08:ポートアラーム08	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

4. 40 eAlarm-44.ポートアラーム-441.装置監視ポート(1-16)-01.ポートアラーム01~16

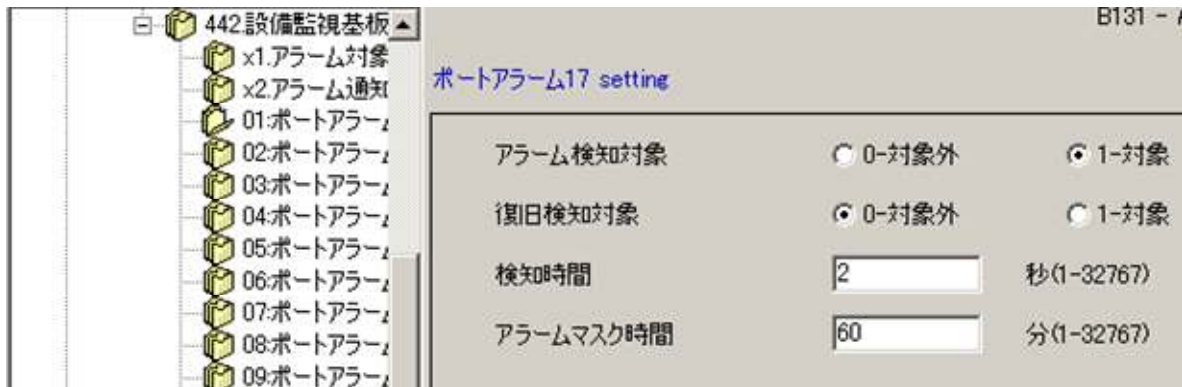
eAlarm-44.ポートアラーム-442.装置監視ポート(17-32)-01.ポートアラーム17~32

アラーム検知対象⇒そのポートに対するアラーム検知が、0-対象外、1-対象か?を設定します。

復旧検知対象⇒そのポートに対するアラーム復旧が、0-対象外、1-対象か?を設定します。

検知時間⇒検知時間(アラームタイマー)の秒数を設定します。(2秒)

アラームマスク時間⇒マスク時間の分数を設定します。(60分)



4. 41 eMonitoring-51.保守モード

保守モードの通知⇒点検発報の0-未使用、1-使用の切り替え設定。

保守スイッチの検知時間⇒スイッチを切り替えてから検知するまでの秒数設定(5秒)

保守開始-通知遅延時間⇒スイッチを切り替えて検知確定してから発報動作に移行するまでの秒数設定(5秒)

保守終了-通知遅延時間⇒スイッチを切り替えてから検知するまでの秒数設定(30秒)

保守スイッチ接続形式⇒オンボードボタン(基板上のSW2)又は、外付け保守スイッチのどちらかを使用する設定

保守スイッチ信号形式⇒保守スイッチの種別。状態非保持型(プッシュ)又は状態保持型(トグル)

保守中のリレー出力⇒保守開始中は出力ポートをONさせる事が出来ます。(0-出力しない、1-6 出力ポート)



4. 4.2 eMonitoring-52.定時発報

定時発報の通知⇒定時発報を0-未使用、1-使用するかを設定します。

定時発報方式⇒0-発報しない、1-ポート番号、2-システム通知を選択します。

定時発報ポート番号⇒ポート番号を設定します。(1)

発報周期⇒発報周期を日単位を設定します。(1)

発報の時刻(時)⇒発報時の時刻(時)を設定します。(0)

発報の時刻(分)⇒発報時の時刻(分)を設定します。(0)

定時発報	
定時発報の通知	<input checked="" type="radio"/> 0-未使用 <input type="radio"/> 1-使用
定時発報方式	<input checked="" type="radio"/> 0-発報しない <input type="radio"/> 1-ポート番号 <input type="radio"/> 2-システム通知
定時発報ポート番号	<input type="text" value="1"/> (1-32)
発報周期	<input type="text" value="1"/> 日 (1-31)
発報の時刻(時)	<input type="text" value="0"/> 時 (0-23)
発報の時刻(分)	<input type="text" value="0"/> 分 (0-59)

4. 4.3 eMonitoring-53.状態情報-531.取得方法

詳細に付きましては、弊社CS(カスタマーサービス)へお問い合わせ下さい。

状態情報 取得方法	
かご位置の取得方法	<input checked="" type="radio"/> 取得しない <input type="radio"/> 運転方向信号使用1 <input type="radio"/> 運転方向信号使用2 <input type="radio"/> ドアゾーン信号 AB使用
運転方向の取得方法	<input checked="" type="radio"/> 取得しない <input type="radio"/> 運転方向信号使用 <input type="radio"/> ドアゾーン信号 AB使用
扉状態の取得方法	<input checked="" type="radio"/> 取得しない <input type="radio"/> 戸開/戸閉信号使用
かご状態の取得方法	<input checked="" type="radio"/> 取得しない <input type="radio"/> ドアゾーン信号 A使用

4. 4 4 eMonitoring-53.状態情報-532.入力信号の割り当て

詳細に付きましては、弊社CS(カスタマーサービス)へお問い合わせ下さい。

Sakura6Plus(DS6B-x-xxL02)基本

0.初期化

0.ロジックモード

x.システム情報参照

1.システム情報設定

2.通信

3.eVoice

4.eAlarm

5.eMonitoring

51.保守モード

52.定時発報

53.状態情報

531.取得方法

532.入力信号の割り当て

54.収集情報

55.試験走行

6.eControl

状態入力信号の割り当て

ドアゾーン信号 A	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
ドアゾーン信号 B	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
上側強制減速信号	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
下側強制減速信号	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
戸開信号	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
照明灯点灯信号	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
運転方向上	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
運転方向下	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)
かご最下階信号	<input type="text" value="0"/>	(0,1-16)

4. 4 5 eMonitoring-54.収集情報-540.全般

詳細に付きましては、弊社CS(カスタマーサービス)へお問い合わせ下さい。

0.初期化

0.ロジックモード

x.システム情報参照

1.システム情報設定

2.通信

3.eVoice

4.eAlarm

5.eMonitoring

51.保守モード

52.定時発報

53.状態情報

54.収集情報

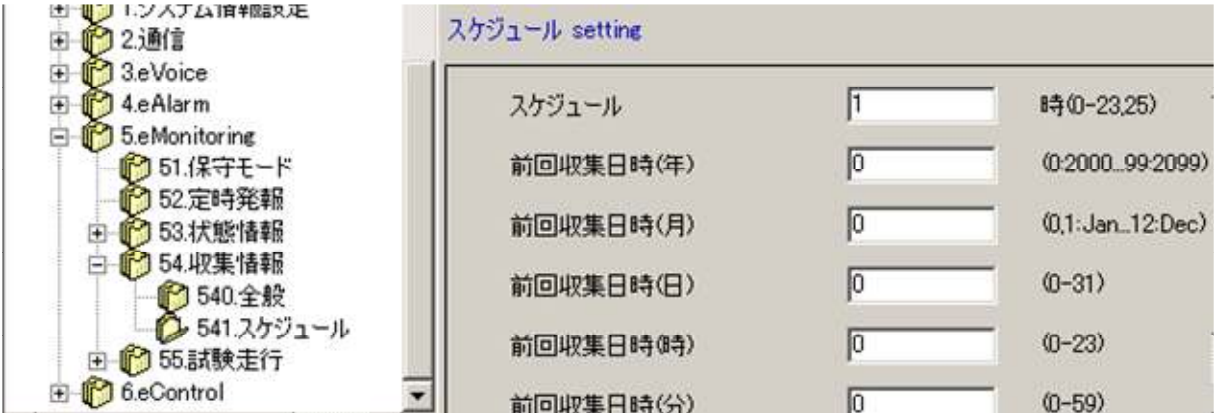
540.全般

収集情報 全般

移動情報の収集	<input checked="" type="radio"/> 0-未使用	<input type="radio"/> 1-使用
計数用ロジック	<input checked="" type="radio"/> 0-未使用	<input type="radio"/> 1-使用

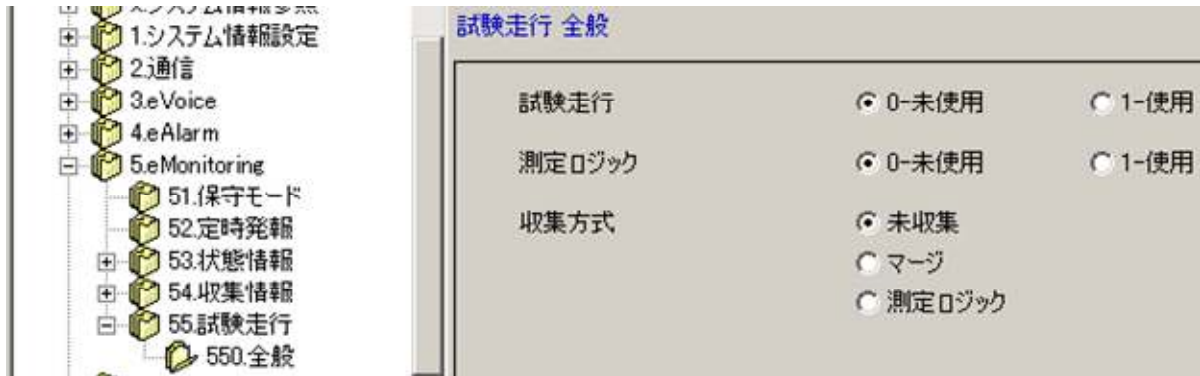
4. 46 eMonitoring-54.収集情報-541.スケジュール

詳細に付きましては、弊社CS(カスタマーサービス)へお問い合わせ下さい。



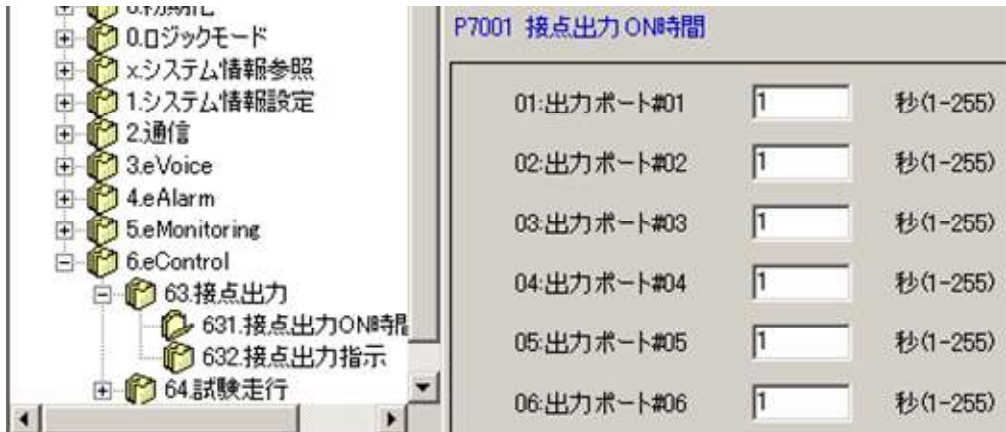
4. 47 eMonitoring-55.試験走行-550.全般

詳細に付きましては、弊社CS(カスタマーサービス)へお問い合わせ下さい。



4. 48 eMonitoring-63.接点出力-631.接点出力ON時間

01-06:出力ポート#01-#06⇒出力時のリレー保持時間を設定します。(1)



4. 49 eMonitoring-63.接点出力-632.接点出力指示

DTMFコマンド⇒コールセンターや携帯電話機からの操作(DTMFコマンド)にて接点出力信号を操作出来ます。
(0-未使用)

リモートリンク⇒保守PCからの遠隔操作により接点出力操作を行なう場合は設定(使用)して下さい。(1-使用)



4. 50 eMonitoring-64.試験走行-640.全般

詳細に付きましては、弊社CS(カスタマーサービス)へお問い合わせ下さい。



5. 困ったときは……(お問い合わせする前の事前確認)

	不具合内容	チェック内容	備 考
1	設定ケーブルがない。	量販電気店やパソコンショップなどでご購入下さい。	USB2.0ケーブル (A:ミニBタイプ) ELECOM社製 USB-FSM518 相当
2	Sakura5+及びSakura6で使っていた設定ケーブルは、使用できるか？	Sakura5+⇒使用不可。 申し訳ありません、 Sakura6⇒使用可能です。	
3	インストールができない。	CD-ROMが読み込めるかをご確認ください。CD裏面にキズがありませんか？	
4	USB(mini-B)オスは、どこに挿すのか？	ROCSAA-2基板 CN2コネクタへ挿して下さい。	
5	設定項目が白抜き字になっている為選択できない。	ログインが出来ていません。再度ログインからはじめて下さい。	
6	ログインで機器の選択をする際に該当の機器名がない。	機器(Sakura6)などの定義ファイルがインストールされていません。定義ファイルを設定下さい。	
7	設定した値が登録されない。	更新・実行ボタンを押して登録して下さい。	
8	接続してるが、ログインできない。 (1)	ACアダプターを挿して30秒以内にログインしてください。もし、経過した場合は、電源入り切り下さい。	
9	接続してるが、ログインできない。 (2)	ACアダプターを抜いて電源の入り切りをしてください。また、COMポートの設定をご確認下さい。	
10	接続してるが、再ログインできない。 (3)	ログインが出来ていて一度切断を選択した場合は、ACアダプターの入り切りして下さい。	
11	ロードボタンを押しても何も表示されない。	ロードボタンは、ログイン後に機能します。	